

2017年12月
1134号

万葉 Manyoh

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5
(一冊の会研究室)

53年目への躍進 ～ 一冊の会の新しい挑戦！

10月27日に53年目のスタートで、さらに躍進した一冊の会。2017年最後の櫻華塾は新しいメンバーと大変嬉しいことに25年間に亘り一冊の会を支援して下さっている最高顧問の中村一磨呂先生をゲスト講師としてお出迎えすることが出来ました。メンバーひとりひとりが「やらんかな」の意欲に溢れています。

国連大学学長と国連事務総長の関係について

一冊の会は53年目に突入。大槻会長より大変嬉しいお知らせが！なんと国連大学初代事務局長の伊勢桃代先生が2018年1月より一冊の会の最高顧問に就任され、講演をして下さる、というビックニュースで始まった櫻華塾。

「1946.4.10」初の婦人参政権行使と日本女性自立への出発の原本のデータの入力担当をしている上ノ町さんが国連大学と国連事務総長との関係を調べて発表しました。国連は1945年10月24日に正式



に設立。以降72年の長きにわたり、世界平和の砦として大きな役割を果たし続けています。その中で国連大学は1969年当時の第3代国連事務総長ウ・タント氏の提案で設立され、1973年12月11日第27回国連総会において採択されました。1975年から東京に本部を置き、国連大学として活動しています。一冊の会も53年間国連の流れと共に世界平和を提唱し活動を続けています。今後伊勢先生を最高顧問にお迎えし一冊の会としても更に躍進して参ります。

核兵器のむごさ 射るまなざし ～ICANがノーベル平和賞を頂く

朝日新聞に掲載された記事を佐藤玉美さんが紹介。NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」＝ICANの顔として国際会議で発言を続けてきたのが13歳のときに広島で被爆したカナダ在住のサーロー節子さんです。ノーベル平和賞の授賞式でスピーチをされるサーロー節子さんが今年の3月に国連本部で語った忘れがたい証言の記事は紹介しています。核兵器のむごさを訴えた言葉です。その峻烈きわまる兵器の開発をリードして「原爆の父」と呼ばれたのはアメリカの物理学者オッペンハイマーでした。オッペンハイマーは核兵器を開発したことに悔恨し、長崎へ原爆投下の翌日ふさぎ込んだといいます。原爆を落とした者の思念と落とされた者の地獄が重なっているのです。核に対するモラルをこの国で緩ませない為にも、平和を願って活動を続けている一冊の会の一員として、今自分に何が出来るかを考えていきたいと思えます。

“AI時代 女性、少女が未来を拓く”シンポジウムに参画して

内閣府男女共同参画推進連携会議・ガールスカウト日本連盟・大学女性協会・私たちが所属している国連ウイメン日本協会が主催の12月2日津田塾大学で開催されたシンポジウムに大槻会長、小山副会長、新井事務局次

長が出席しました。

元NHKのニュースキャスターである国谷裕子氏等専門家の4人のパネリストが、AIが今後更に活躍すると、生産業界や介護業界を筆頭に仕事人間からAIへと移行され、解雇される人が出てくると警鐘を鳴らしました。しかし同時に女性の本来の特質である慈愛の精神は人間には敵ません。人間にあってAIにないもの、それが「心」であり、人の心を読み取る自愛の眼です。これから先AI時代に突入しても女性は、本来の特質を十分生かし輝き、成長出来るのです。私達ひとり一人がAIにより時短が可能となった時間を有意義に過ごし、女性として、母として、妻としてその特質を活かし社会で更に輝く時代を築いて参りましょう！

東北支援活動 119 回目に

2017年も終わりに近づき、一冊の会では大槻会長と小山副会長が119回目の東北支援活動と6年に亘り復興祈念樹として東北各地に植樹し続けている雪香プロスパーポローニヤの様子を見に東北を訪れました。小山さんから宮城県仙台市の閑上地区に植樹されたプロスパーポローニヤを閑上朝市の皆さんが愛を持って大事に育てて下さっているという嬉しい報告がありました。磯部小学校のプロスパーポローニヤにも花芽が沢山ついているとのことです。来年の春満開になった時には東北の皆さんの心に幸せな大花を咲かせてくれることでしょう。

新たな挑戦！ Youtube 配信へ 鬼童事務局次長より

一冊の会では10年続いた赤松良子世界インターネット配信を発展させ、2018年は赤松良子Youtube配信開始へと向けて新たなプロジェクトを設立しました。このプロジェクトの目的は主に下記のとおりです。

- 1、一冊の会の精神を正しく伝えて後世へ継承すること
- 2、一冊の会の顧問の先生方の活躍を紹介し、新たな学びの場を提供すること
- 3、一冊の会櫻華塾等で講義して下さった講師の先生方の活動を紹介すること
- 4、世界市民として通用する人材育成をすること

Youtubeを介して今後一冊の会の活動を配信していくことで、動画、音声を通じてより一冊の会の理念、信念を多くの方に伝えることが可能となります。新しいプロジェクト発足(2018年1月)に際し現在鬼童さんを筆頭に山内さん、新しいメンバーの沖さん、それ以外に制作メンバーを募集中です。ITに詳しく無くても一冊の会の活動を世界、後世に伝えていきたい意欲ある方、是非共に新プロジェクトを大成功へと導きましょう！！

スポーツ吹き矢、新しい体験！

スポーツ吹き矢は現在5万数千人の会員がいる日本で生まれた新しいスポーツです。ミスインターナショナルのコンテストの一環でも東京銀座でスポーツ吹き矢の体験をしました。今や世界的なスポーツへと飛躍しています。スポーツ吹き矢は基本的な動作、特に呼吸法が大事であり特に運動能力等は問わない新感覚のスポーツです。一冊の会最高顧問として25年間温かく優しく支えて下さっているスポーツ吹き矢協会理事長の中村一麿呂先生より直々にスポーツ吹き矢の説明、やり方をご指導頂き、メンバーも体験させて頂きました。皆スポーツ吹き矢は初体験でしたが、的に向かって立ち、正しい姿勢で呼吸を整え肺から思いっきり息を吐くことで見事、的に命中！男女年齢問わず楽しめた体験は初挑戦にもかかわらず皆さんお見事でした。呼吸法を整える為にも是非続けて参りましょう。



2017年最後の櫻華塾では新しいメンバーを迎え、新しい体験をし、また新しい挑戦に向かい皆で新しい一冊の会の空気を感じることが出来ました。最後に石田理事長より「一冊の会の想いや活動を一人一人が当事者として自分の言葉で後世へ伝えていく、それが一番大事なこと」とお話がありました。何故今一冊の会で学んでいるのか、再度自覚をして、53年目の新しい一冊の会を皆で築いて参りましょう！

文責：平間、城杉